

原の辻散策

至 芦辺

N

内海湾

博物館展望室から原の辻遺跡を望む。

弥生時代の内海湾は
世界に開かれていた...

至 勝本

原の辻を巡る
弥生の原風景

1 城ノ辻(田原の風景)



江戸時代、平戸藩主が鷹狩りの時にここを休憩地として滞在したため「城ノ辻」と呼ばれています。小高い丘からは県下第2の平野「深江田原」が見渡せます。(上の図は「壱岐名勝図誌」より抜粋)

2 原の辻ガイダンス



原の辻遺跡の発掘の歴史や四季の風情を紹介したガイダンス施設。壱岐のお土産や地域の物産の販売スペースもあります。

3 船着き場跡(写真は復元模型)



紀元前2世紀後半に造られた、東アジアで最も古い時代の船着き場が土の下に眠っています。当時の最先端の技術を駆使して造られたもので、大陸との交流を証明する貴重な遺構です。

4 原の辻一支国王都復元公園



弥生時代に形成された多重環濠集落跡。「魏志倭人伝」に登場する「一支国」の王都に特定されている国の特別史跡(遺跡の国宝)。邪馬台国の卑弥呼への使者もこの地を訪れたことでしょう。



5 玉主賣(たまぬしめ)の墓



8世紀の壱岐の豪族に連なる女性の墓。15歳で夫に先立たれた後、30年間貞節を貫いたと云われています。お墓の傍らには、玉主賣の遺徳を称えた江戸時代の碑がたっています。

6 一支国(いきこく)博物館



2010年3月14日オープン! 海を介した交流・交易をテーマとした博物館。長崎県埋蔵文化財センターが併設されており、見どころ満載です。

7 大塚山古墳



5世紀後半ごろの築造。壱岐にある約270基の古墳の中でも最も古い古墳といわれています。江戸時代に安国寺の第24代目和尚によって調査されました。

8 烏帽子橋石



見てのとおり「烏帽子」の形をした岩。以前は安国寺の参道にかかる橋石として使われていました。この近くには同じように使われていた石がいくつかあります。

9 安国寺



足利尊氏の指示により全国66国と2島に建てられた安国寺のうちのひとつ。寺に伝わる室町時代の貴重な宝物は、一支国博物館で見ることができます。



松浦久信夫婦の坐禅石
安国寺の大スギ

あぜ道に埋まる
巨石の正体は...

大豆喰石跡
~昔の道しるべ
は地中に?~

鶴と鷺の違いが
わかりますか?

冬の深江田原は
鶴の飛来地。



至 石田・印通寺港